

基本コンセプト

「地域医療は地域で働く総合診療医が教える」

具体的な主な取り組み

症候学の授業（25コマ）臨床前授業として4年生後半

地域の総合診療医が指導

実践的な知識と経験を学生に伝える

問題点と対策：本来大学の教員でない医師が授業をする

地域の病院を空けて、授業に来る

対策：全体のシラバスや質の管理は総合診療医センターでおこなう

可能な限り総合診療医センターの非常勤講師が陪席する

現在は年休をとり、旅費・謝金で対応（**R6計¥294,260** 内訳謝金：208,000円（5,200円×2時間×20名）、旅費：86,260円（10名））

提案

地域の病院から地域医療を大学に
教えに来る場合は、所属元の医療機
関にインセンティブ
（不在時分の給与補填など）

高校生入学前医療体験 ※R6で終了

地域枠、県内定着枠、緊急医師確保枠 計約20名に対し
島根県内の医療機関で5日間の医療体験が必須

コロナ禍 R3,R4オンラインで2日間
R3 51名体験→40名受験→17名入学

受験生への負担、受験者数の減少
→R7からは中止

地域実習 5年生全員を対象に4週間：

地域病院で実習を実施(島根県の中小の病院・診療所 or 総合診療プログラムのある医療機関 17か所)

現場の医療体験を通じ、地域医療を深く理解

問題点と対策：費用（移動費、滞在費、実習費）

移動費：※島根大学後援会が負担 ※移動費は必要なら後ほど

滞在費：※現在は大学運営費交付金より主に支出

ホテルだと素泊まり6,000円×20日で12万になる（**R5実績 ¥3,655,012**）※現在は大学運営費交付金より主に支出

→可能な限り受け入れ病院にお願いし、病院官舎、町営住宅、民家の借り上げで対応

R7は学生からの負担はなしでやれるが、R8は不明で、実習運営費として徴収も検討

実習謝金：※現在は大学運営費交付金より主に支出

以前は受け入れ病院に対して大学から3,000円/人/日だったが、R7からは1000円/人/日に

R7予定 108人×20日×1,000円＝**¥2,160,000**

高度総合診療力習得コース
全学年対象課外授業

Aコース
総合診療専攻医体験コース

Bコース
臨床推論・身体診察

Cコース
エコー技術習得コース

Dコース
研究・論文コース

Eコース
胸部レントゲン読影

Fコース（仮）
エコー解剖学

提案

- ・地域の病院への旅費、滞在費用弁償
- ・医療者の実習受け入れする自治体への交付税
（滞在用、あるいは受け入れ施設など）

※医療施設が宿泊施設を管理するのは現実的ではない

島根大学 総合診療医養成の取り組み（地域実習）

令和7年度臨床実習 総合診療・地域医療 医学部実習(web) スケジュール

※ 5/9（金）「オリエンテーション」 佐野先生（みらい棟2F 共通カンファレンス）
（他の診療科実習中の場合）上記の参加許可はいただいておりますが、学生からも指導医へ伝えてください

	月	火	水	木	金
1週目	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16
	17:10-18:10 「医療面接」 ヴェロニカ先生 & 牧石先生 (zoom)	16:00-17:00 「痛く言葉」と「痛くない言葉」 鬼形和道先生(zoom)		14:00-15:00 「総合診療1週目の学び」 牧石徹也先生(zoom) 個別フィードバック (zoom) 右表参照	
2週目	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23
				個別フィードバック (zoom) 右表参照	
3週目	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30
			16:00-17:00 「患者中心の医療技法について」 高橋賢史先生(zoom)	個別フィードバック (zoom) 右表参照	
4週目	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
			16:00-17:00 「プライマリ・ケアのACCCA」 佐藤 誠先生(zoom)		13:00-16:00 学生の実習発表会 集合：みらい棟4F ギャラクシー

- ・ 地域で総合診療医が地域医療を行っている
17病院を選定
- ・ 3分間の紹介動画を作成

[島根大学の地域医療実習について - NEURAL GP network 島根大学附属病院総合診療医センター](#)

- ・ 学生に見せたのち質疑応答し、学生が自分たち1クール11人で行き先を決定
- ・ 前週木曜日にオリエンテーション
- ・ 大学から必要な配信を5コマ
 - ・ プロフェッショナリズム（副学長）
 - ・ 英語による医療面接（スウェーデン ルンド大学）
 - ・ 一週目の学びの確認（当大学総合医療学教授）
 - ・ 患者中心の医療技法について（地域の家庭医）
 - ・ プライマリ・ケアのACCCA（地域の家庭医）
- ・ オンデマンド学習
 - ・ 格差医療・やさしい日本語・地域での療養生活（医療相談・障害者手帳）

- ・ 毎週の振り返り
第1/2/3木曜日に3名の教員が1人20分でwebで面談
- ・ 最終日大学で全員集合し1人15分で発表、共有

厚生労働省の「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」
2025.3.10報告会資料



島根大学医学部附属病院総合診療医センター Shimane General Medicine Center

<https://shimanegp.com/>



ミッション：

へき地・離島を含む全ての地域の住民が安心して過ごせるよう
優秀な総合診療医を育成し、持続可能な医療を提供し続ける

ビジョン：

ヒエラルキー並びに組織間の壁の無い総合診療医育成のための ネットワーク

- ・総合診療医の育成を様々な場所からリアルタイムで可能にする
- ・住民が安心できる医療を提供しつづけるために、総合診療医
同士の相互サポートを行う
- ・総合診療医が仕事、私生活を充実して過ごすサポートを行う
- ・地域医療現場のネットワークを用いて総合診療医学研究で世
界を牽引する



コアメンバーの設定と外部教員へ

センター長	白石吉彦※	隠岐島前病院
副センター長	和足孝之	島根大学客員教授・京都大学准教授
センタースタッフ	坂口公太	島根大学
コアメンバー	木島庸貴	大田市立病院
コアメンバー	樋口 大	県立中央病院
コアメンバー	加藤一朗	隠岐病院
コアメンバー	小田川誠治※	県立中央病院
コアメンバー	助永親彦	隠岐病院
コアメンバー	岡本栄祐	益田日赤病院
コアメンバー	遠藤健史※	奥出雲病院
コアメンバー	高橋賢史	出雲市民病院
コアメンバー	佐藤 誠	浜田市国保診療所群
コアメンバー	上野伸行※	浜田市国保診療所群
コアメンバー	原田愛子※	飯南病院
コアメンバー	佐々木弥生※	よしか病院

※は病院勤務メンバー

ITを駆使したバーチャルオフィスの構築



チャット・ブレインストーミング



オンラインミーティング



文書管理

オフィス 大学医学部みらい棟 2F 学生が集う場所に



病院メンバー

- 月：小田川（県立中央病院）
- 火：遠藤/上野（奥出雲病院/浜田診療所）
- 水：原田（飯南病院）
- 木：白石（隠岐島前病院）
- 金：白石（岡本・佐々木 月1回）
- （益田赤十字病院・よしか病院）

メンバーシップ

410人

合計

375人

申請済み

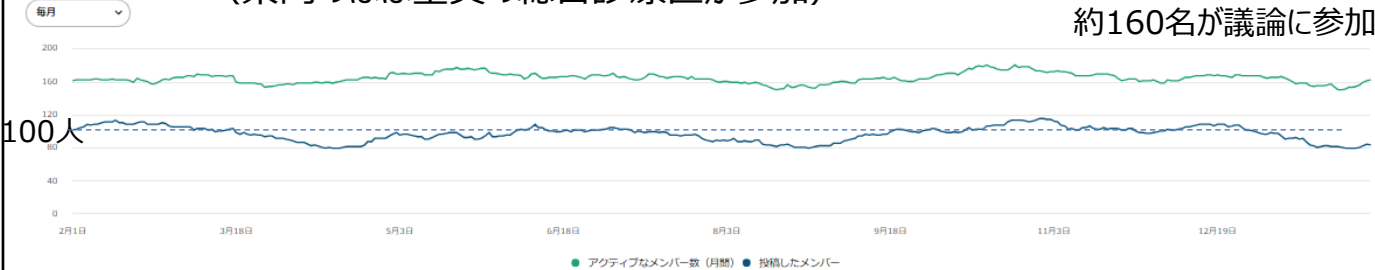
162

月間アクティブ

ワークスペースの
アクティブなメンバー（1
ジでメッセージの投稿ま
可は、料金・お支払いの

- 現時点Slack参加者375名、そのうちActive 162名（県内のほぼ全員の総合診療医が参加）

ヒエラルキーを無くす事で若い人を中心に約160名が議論に参加



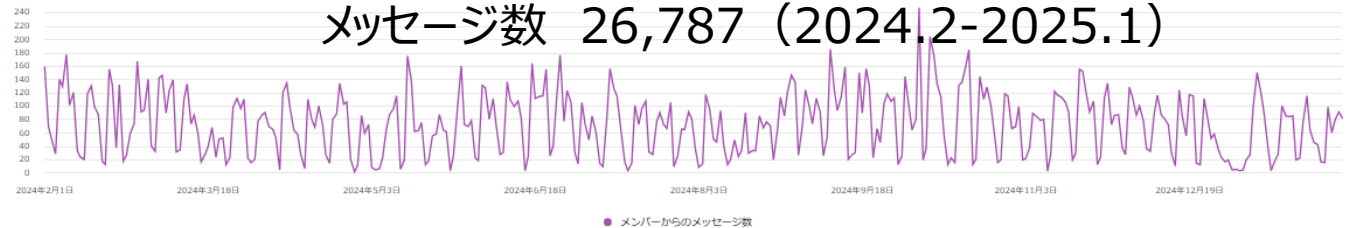
会話が行われている場所

あなたのメンバーがどこで会話し、どこで一番メッセージが読まれているのかを把握します。メッセージのほとんどが複数のメンバーに読まれることになります。

メッセージの送信日時 メッセージが読まれている場所 メッセージの送り先

26,787

メンバーからのメッセージ数



メッセージ数 26,787（2024.2-2025.1）

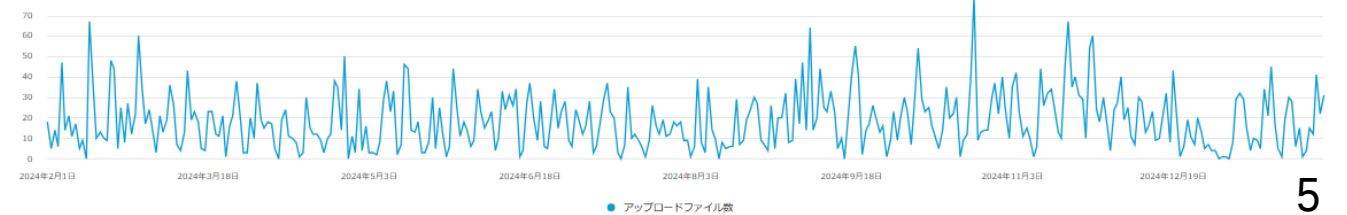
ファイルをアップロードしているメンバー

ワークスペース内での情報共有の状況を確認できます。

6,803

アップロードファイル数

ファイルやり取り数 6,803（2024.2-2025.1）



R2-3年度

<https://shimanegp.com/>



・総合診療医センターの立ち上げ：

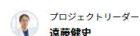
大学外の地域の総合診療医を巻き込んでコアメンバー選定、病院メンバー選定

・バーチャルオフィス構築：

zoom・google・slack・redmine・dropbox



最終更新：2021.11.15
GP stories



プロジェクトリーダー
遠藤健史

・ホームページがITオフィスへの接続口

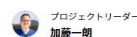
・GP Stories：

県内で勤務する総合診療医が何故“総合診療医”になったのか、なぜそこで働いているのかについて、ロールモデルとしての紹介

・GP Life：島根の総合診療医の生活 (畑、ヨット、海遊びetc) の紹介



最終更新：2021.08.18
GP Life



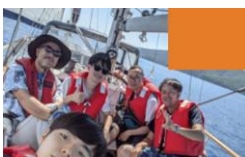
プロジェクトリーダー
加藤一朗

- ・島根の総合診療医が作成
- ・40症候 10分 x 2本 計80本
- ・家庭医学講座 ビデオ5本
- ・教員の教育負担削減、ポリクリの充実、症候学の充実
- ・総合診療教育の標準化
- ・無料全国開放
- ・地域医療実習、総合診療実習で殆どの主訴に応用可能

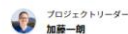
・GP student：

総合診療の現場を訪れた学生のレポート

・GP Reserch：英語査読付き論文22本



最終更新：2021.10.01
GP student



プロジェクトリーダー
加藤一朗

・高校生入試前オンライン体験実習

地域枠・県内定着枠 2日間 計51名

→40名が島大受験→17名が入学

県下の11医療機関

隠岐島前病院・隠岐病院・出雲市民病院・奥出雲病院
飯南病院・浜田診療所群・大田市立病院・雲南市立病院
邑智病院・益田赤十字病院・津和野共存病院



・4年生症候学授業 2021.11.18-12.10

- ・37症候
- ・Near-Pear方式で5年生6人がチューター
- ・2-3人のグループで1症候担当

・プライマリヘルスケアリサーチプロジェクト

- ・10プログラム全多施設共同ネットワークの構築
- ・ミドル総合診療医の研究指導開始
- ・Case report/臨床研究の遠隔指導
- ・国際共同研究の開始



University of Michigan



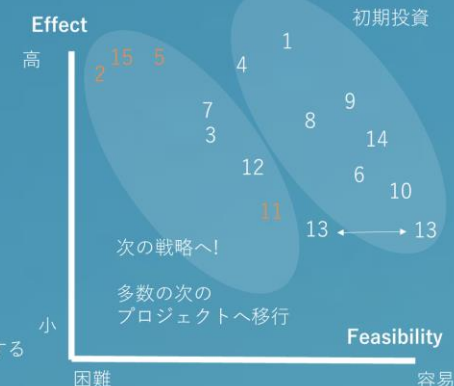
LUNDS
UNIVERSITET



HARVARD
MEDICAL SCHOOL

R3時の戦略と展望

- 1 Virtual 空間でのITオフィス
- × 2 大学からBiasを除去
- 3 役職・年齢・ヒエラルキーを取り除く
- △ 4 離島や海外からでも総合診療育成
- × 5 しまねが総合診療医育成のブランドなる
- △ 6 市中病院の総合診療医が大学でも効果的に働く
- 7 総合診療医のTeal組織をつくる
- 8 意見交換を10倍に増やす
- 9 教育と実習を充実・標準化させる
- 10 臨床実習の症候学の不足を補う
- △ 11 家庭医学の理念と学問を組み込む
- 12 県内総合診療医の心理的安全性を保つ
- 13 総合診療領域の研究(論文数)で日本を牽引する
- 14 透明性高く、県内全総合診療医が方針決定に参加する
- × 15 離島僻地に安定した実力ある総合診療医を供給



地域だけではなく、大学だけでもない。それぞれの現場リーダー達が強みを補完。
ITを駆使して持続可能な成長をし続けるためのニューラルネットワークへ

事業の数値目標 各プロジェクト目標設定値を継続達成を目指します

R4年度

<https://shimanegp.com/>



・総合診療医センターの運営：

大学外の地域の総合診療医を巻き込んでコアメンバー選定、病院メンバー選定

・バーチャルオフィス活性化：

zoom・google・slack・asana



・Web site更新

	R5	R4	R3
News	19回	46回	12回
Gpstudent	12回	15回	2回
Gplife	回	2回	3回
Gpreserch	10回	3回	4回

・GP Reserch：英語査読付き論文31本（R4）

・4年生症候学授業：38コマ R3に引き続きNear-Pearで継続

・高校生入学前オンライン体験：継続

・雑誌「総合診療」2022.9島根特集号：

島根の総合診療が日本1なワケ・アドバンスVOD特集



2022Good Design 金賞受賞

高齢化先進県である島根で、地域の総合診療医が大学で医学生を教育、医学生を地域で教育するというソーシャルデザインとしてのエントリ-



4分間の
オンラインプレゼン

・ビデオオンデマンド 13本

- ・主に島根の総合診療医が作成
- ・Advanved VOD
医学教育、感染症、療養制度、
介護保険主治医意見書
小児の予防接種など

・他6総合診療医センター行脚

国際認証対応新カリキュラム 新5年生地域実習4週間

地域医療支援学講座・総合医療学講座・地域教育学講座とともに

2022.2.28-12.9

1クール11名が1年を通じて
4週間の地域実習

島根県の中小の病院・診療所or
総合診療プログラムのある医療機関 16か所

見学型から参加型へ

大学からのレクチャー、フィードバック

新カリキュラム地域医療/総合診療実習 島根島前病院スケジュール例

week0(前週) 佐野・白石からの開始前オリエンテーション				
	week1-1	week1-2	week1-3	week1-4
AM	内科予約外来 (朝8時-12時)	外科外来 (朝8時-12時)	内科初診外来 (予約)	外来検査 (予約)
PM	オリエンテーション 救急外来	救急外来	院内救急外来	三度診療所 (へき地出張診療)
			14:00-15:00 大学レクチャー(佐野)	16:00-17:00 振り返り(白石)
	week2-1	week2-2	week2-3	week2-4
AM	内科初診外来 (予約)	知夫診療所	院内回診	訪問看護 同行
PM	施設定検 (朝8時-12時)	知夫診療所	院内救急外来	サービス課 サービス課
	16:00-17:00 大学レクチャー(白石)			16:00-17:00 振り返り(白石)
	week3-1	week3-2	week3-3	week3-4
AM	院内薬局	院内検査室	清瀬診療所	内科初診外来 (予約)
PM	施設定検 (朝8時-12時)	小児予防接種	訪問診療 院内救急外来	こさいな健診 (朝8時-12時)
	14:00-15:00 家庭医レクチャー (佐野)		14:00-15:00 家庭医レクチャー (佐野)	16:00-17:00 振り返り(白石)
	week4-1	week4-2	week4-3	week4-4
AM	知夫診療所	地域包括支援センター	院内回診	実習報告会
PM	知夫診療所	健康サロン	訪問診療 院内救急外来	実習報告会
		14:00-15:00 家庭医レクチャー (佐野)		

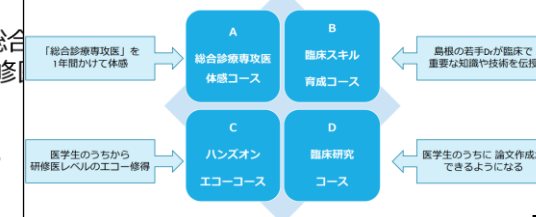
高度総合診療力習得コース 2022.4.1-

目標

1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その資質を修得する。
2. 診療所での在宅診療や外来において、通常の臨床実習では修得が困難な、患者中心の医療についての知識・技能・態度を修得する。
3. 総合病院での外来・病棟において、通常の臨床実習では修得が困難な、患者中心の医療についての知識・技能・態度を修得する。
4. 上記について6年間で縦断的にコースを組むことで、総合診療・コンピテンシーについて、6年生修了時に初期臨床研修修了を目標とする。
5. 長期的には島根に資する総合診療医の足掛かりとする。



選べる4つのコース



R5年度

<https://shimanegp.com/>



・新5年生地域実習4週間

地域医療支援学講座・総合医療学講座・地域教育学講座とともに

・4年生症候学授業：25コマ 地域の総合診療医14名が授業

①臨床推論を鍛える、②協同的な学びを行う、③現場の医師による実践知を伝える

・GP Research：英語査読付き論文36本（R5）

・アドバンスドビデオオンデマンド 3本（R5）

3年間で計 157本 無料公開

臨床系ビデオに関してはuptodateとコラボし、引用リンク開始

・Coaching：病院メンバーにより医学生・研修医対象

グロービス大学院とのコラボ

・日経メディカルOnline エコー連載企画



・2022.12- 現在計16回 月1回程度
・島根の総合診療医 & 地域病院の検査技師によるクイズ形式、動画解説

・第15回Point of Care超音波医学会学術集会 出雲

- ・2023.7.15-16島根大学で主催 センターメンバー & 医学生で運営
- ・学生描出大会セッション、総合診療医セッション企画
- ・参加者 352名（医師248人 研修医・コメディカル75人 学生29人）

・他県との交流：広島大学・宮崎大学・山口大学・岡山大学・沖縄（群星など） 秋田大学・会津医療センター

・他分野との交流：デザイン（IDEO）、ヘラルボニーetc

・島根大学病院長表彰（R4・R5）

・島根大学優良教育実践表彰（R3・R4・R5）

・県内地域病院のコンサル、総合診療医支援



高度総合診療力習得コース2023

白石・和足が
島大生に捧ぐ珠玉の教育コース

高度総合診療力 修得コース2023

A-1 コース
総合診療専攻医を体感
— 専門医による濃い濃い指導

座学 **現地実習**

■ 評価：総合診療専門医試験時に提出する内容のポートフォリオ（レポート）を実際に作成

A-2. しまね総合診療医のつどい
島根の総合医とグループディスカッション・課題提出

第1回目：4月 in パルメイト出雲
第2回目：9月 in パルメイト出雲
第3回目：12月 in ツインリブス出雲

B. 臨床スキル育成コース

C. 総合診療医によるハンズオンエコーコース

事前予習
→ 当日の実習（シミュレーターを活用）
→ 復習・まとめ

D. 臨床研究コース

- ・オンライングループワーク
- ・すでに、医学生による研究が複数進行中
- ・当然、学会発表・英語論文までサポートします
- ・医学生でも、指導医レベルの研究・英語論文作成は可能です

R6年度

<https://shimanegp.com/>



・新5年生地域実習4週間

地域医療支援学講座・総合医療学講座・地域教育学講座とともに

・4年生症候学授業：25コマ 地域の総合診療医14名が授業

①臨床推論を鍛える、②協同的な学びを行う、③現場の医師による実践知を伝える

・GP Research：英語査読付き論文4本（R5）

・科研費：公立病院経営（R6）

・アドバンスドビデオオンデマンド 4本（R6）

4年間で計 161本予定 無料公開

臨床系ビデオに関してはuptodateとコラボし、引用リンク開始

・Coaching：病院メンバーにより医学生・研修医対象 グロービス大学院とのコラボ

・国際連携：台湾、ハワイ大学、タイ

・他県との交流：広島大学・香川大学・山口大学・岡山大学・沖縄（群星など） 旭川医大・石川県

・島根大学病院長表彰（R4・R5・R6）

・島根大学優良教育実践表彰（R3・R4・R5・R6）

・県内地域病院のコンサル、総合診療医支援



高度総合診療力習得コース2024

A-1 コース

総合診療専攻医を体感
一専門医による濃い濃い指導

座学

現地実習

■ 評価：総合診療専門医試験時に提出する内容のポートフォリオ（レポート）を実際に作成

A-2. しまね総合診療医のつどい

島根の総合医とグループディスカッション・課題提出

第1回目：4月 in パルメイト出雲
第2回目：9月 in パルメイト出雲
第3回目：12月 in ツインリープス出雲

B. 臨床スキル育成コース

臨床スキルを磨く。患者さんとの関わりを学ぶ。

現地実習で患者さんのそばへ

D. 臨床研究コース

- オンライングループワーク
- すでに、医学系による研究が開始中
- 当然、学会発表・英語論文までサポートします
- 医学士でも、臨床レベルの研究・英語論文作成は可能です

C. 総合診療医によるハンズオンエコーコース

事前予約
→ 当日の実習（シミュレーターを活用）
→ 復習・まとめ

E. 胸部画像読影コース

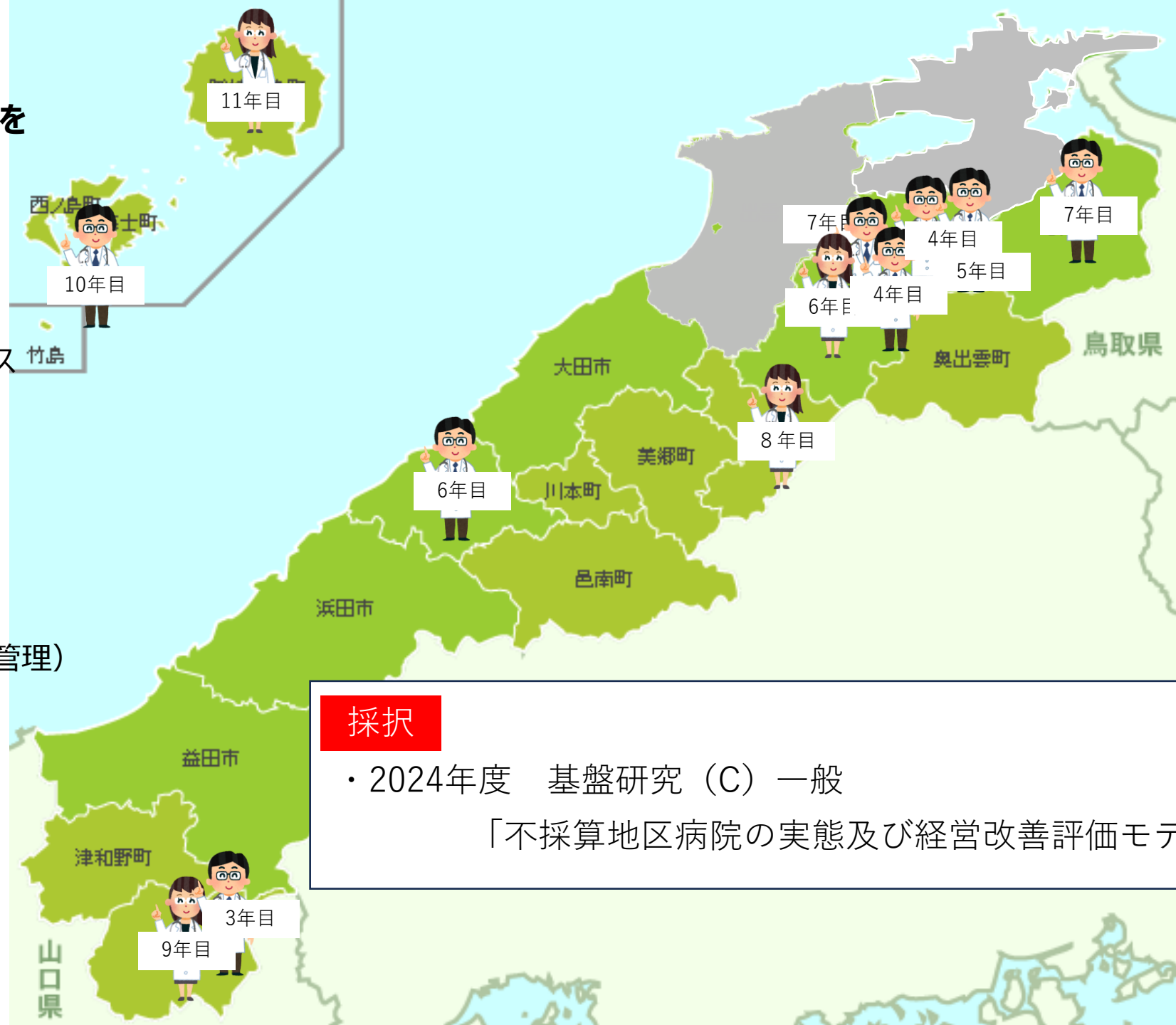
	総合診療専攻医数	県内全専攻医数	割合
2018年度4月採用	0名	37名	0%
2019年度4月採用	3名	44名	6.8%
2020年度4月採用	5 名	46名	10.9%
2021年度4月採用	7名	61名	11.4%
2022年度4月採用	5名	28名	17.8%
2023年度4月採用	5名	40名	12.5%
2024年度4月採用	9 名	57名	15.8%
2025年度4月採用	8名	57名	14.0%

R6-

地域医療のリーダーを 10人育てる

- 学内
- ・4年生症候学
 - ・5年生地域実習
 - ・高度総合力習得コース

- 学外
- ・診療支援
 - ・コーチング
 - ・リーダーシップ
 - ・マネジメント支援
（経営・広報・人材管理）
 - ・医療人材確保
 - ・地域巻き込んだ集い
 - ・総合診療の集い
 - ・総合診療医FD
 - ・etc



採択

- ・ 2024年度 基盤研究（C）一般
「不採算地区病院の実態及び経営改善評価モデルの創出」